

# 建コン協北陸支部のPR活動報告



- 実施対象者：長岡工業高等専門学校 環境都市工学科（環境都市工学科 教授 井林教授）
- 実施日時：令和6年7月5日（金）14:30～16:00（7限～8限）
- 参加人数：3年生40名（男子28名、女子12名）
- 配布資料：
  - ①建コンPR冊子
    - ・明日の社会を創造する建設コンサルタント
    - ・KenCon PRIDE 建コンで地域を創る人になろう
    - ・本部 建設コンサルタントとは
    - ・会員名簿
  - ②ボールペン
- 実施者：真嶋統括技術委員（エヌシーイー株式会社）  
伊藤河川砂防委員長（開発技建株式会社）  
長岡高専OB 渡邊（開発技建株式会社）

今年度も昨年度に引き続き、対面でのPR活動となりました。  
建設コンサルタントの役割と仕事の事例に加え、昨今の建設業界の旬なネタとして、CIMを活用した事例や最新のDX等も含めて紹介しました。  
皆さん真剣に聞いて頂き、また、多くの質問も頂きました。

## 【授業の様子】



### <質問例>

- ・ 学校で学んだことで、やっておいてよかったと思うことは。
- ・ どのような人が会社の中で活躍しているか。
- ・ 建設コンサルタントにならなければ何の職業についていたと思うか。
- ・ 業務を実施していく上でどのような資格を取得すればよいか。
- ・ 学生時代、進路は考えていたか。
- ・ コンサルタントに入って、人間的にどう成長したと思うか。

学校では、土木の専門技術に加え、機械系の科とも連携し、A I 等も取り入れた授業を実施しているとのことでした。建設コンサルタント業界では、現在、DXを推進しており、こうした能力を有する人材が、今後より一層業界内に参入してくる期待感を持ってました。

また、ここ数年、建設コンサルタントを希望する学生さんが増えているとのことで、今年も多くの学生さんが建設コンサルタントに興味をもってくれることを期待いたします。